

大学等名	川崎医科大学
教育プログラム名	川崎医科大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム

申請レベル	リテラシーレベル
申請年度	令和6年度

川崎医科大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 取組概要

目的

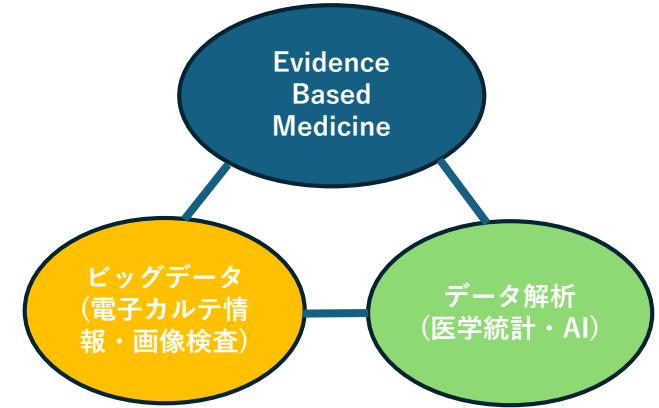
全学生に「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能を修得させ、適切に理解し活用する基礎的な能力を育成する。

身に付けられる能力

- ・医学、EBMとデータサイエンスの関わりについて説明できる。
- ・社会で活用されるデータ・AI・ICTとその活用について理解・説明できる。
- ・必要な医学情報(データ・論文)を入手し、適切に評価できる。
- ・個人情報保護、情報に関する倫理について理解し、適切に対応できる。
- ・データを活用した研究を立案し、遂行することができる。
- ・データを統計学的手法やAIなどで解析し、データをまとめ、発表できる。

プログラム概要

- ・医学・医療には、電子カルテ情報、画像データなど、様々なデータが関係します。これらの解析結果の積み重ねが**EBMの基盤**となります。
- ・本プログラムでは、医学データの見方や医学論文の読み方から、AIの社会実装まで、講義と演習を通して学ぶことにより、**EBMを体得・実践**できるよう計画されています。
- ・本プログラムは、**ディプロマ・ポリシー**に基づいており、最新医学を生涯身に付け、社会のために活躍する**良医を育成**します。



数理・データサイエンス・AI教育プログラム



最新医学を習得し実践する良医を育成

科目の構成

※シラバス上は「EBM・データサイエンスシリーズ」と表記している。

学年	科目名	単位数
1学年	医科学入門	0.5単位
	医用統計学	2単位
	発表の技法	0.5単位
2学年	医学とEBM・データサイエンス	1.5単位
	数理サイエンス講義とプログラミング実習	0.5単位
	医学研究への扉	5単位
3学年	データ分析に基づく研究講義	1単位

修了要件

プログラムを構成する全ての科目（必修）を履修し単位取得すること

実施体制

- ・プログラムを改善・進化させるための体制：数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会
- ・プログラムの自己点検・評価を行う体制：数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会、教務委員会

大学等名	川崎医科大学
教育プログラム名	川崎医科大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム

申請レベル	リテラシーレベル
申請年度	令和6年度

川崎医科大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 補足資料

ACTION

教務委員会

- ・数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会へのフィードバック

数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会

- ・授業担当教員へのフィードバック

CHECK

教務委員会

- ・定期試験、レポート、研究発表による学生の理解度評価
- ・学生へのアンケート実施

数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会

- ・アンケート結果の解析・評価

数理データサイエンス・AI教育プログラムのPDCAサイクル



- ・教務委員会が授業を多角的に評価し、数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会へフィードバックします。
- ・授業を恒久的に改善し、最先端の授業コンテンツを提供します。

PLAN

数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会

- ・EBMが身につくプログラム構成
- ・データサイエンスを体験できる教育環境の整備
- ・他の医学系授業との連携

DO

授業担当教員

- ・明快なシラバス作成
- ・分かりやすい親身な講義
- ・AI・プログラミング演習
- ・医学論文の解釈と医療との関係の学修
- ・学生研究結果の発表